
2006 ▶▶ 2026

Nikaho City Sports Youth Club

20th

Anniversary



にかほ市スポーツ少年団
設立 20 周年記念誌

にかほ市スポーツ少年団設立20周年記念誌

目次

あいさつ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

お祝いのことば・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

にかほ市スポーツ少年団のあゆみ・・・・・・・・・・ 6

単位団のあゆみ、メッセージ、団員の声・・・・・・・・ 8

資料

にかほ市スポーツ少年団諸規定・・・・・・・・・・・・ 24

令和7年度にかほ市スポーツ少年団本部委員名簿・・・・ 32



20周年を迎えるにあたって

にかほ市スポーツ少年団
本部長 佐々木 俊哉

にかほ市スポーツ少年団は、平成17年10月1日の「にかほ市」誕生に伴い、平成18年1月30日に仁賀保町スポーツ少年団、金浦町スポーツ少年団、象潟町スポーツ少年団が統合して設立されました。

設立当初は、仁賀保9団、金浦6団、象潟11団の合計26団でスタートを切り、現在では15団263名（令和7年7月31日登録人数）が元気に活動しております。20年の間、支えて下さった指導者、母集団や地域の皆様に、心より感謝申し上げます。また、より良い運営の一つに小学校からの支援が大きいものと感じております。団員募集や案内配布、各団との連絡調整も協力いただいております。活動基準では、学校生活に配慮した活動日や活動時間を定めて、小学生の体と心に負担の無いよう努めております。

にかほ市スポーツ少年団では、日本スポーツ少年団の理念でもあります、「スポーツを通じた青少年の健全育成」を大きな柱にし、スポーツを愛する仲間と友情の協和を大切にして健康な体と心を養うことを目的としています。競技力の向上のみならず、練習や試合の中で楽しさ、辛さ、悔しさ、喜びを仲間とともに味わい、仲間とともに成長していく場でもあると思います。

また、単位団の活動だけでなく、本部事業として、全団が集う「入団式」「全団交流会」「修了式」を毎年開催しています。本部事業では、中高生の会員からなるリーダー会が活躍し、式の運営や交流会の企画や司会等で大きな力を発揮しています。団員の良い手本となり、スポーツ少年団活動のみでなく、にかほ市のあらゆる面においてリーダーシップを発揮し、将来の指導者として活躍してくれることを期待しています。

この10年を振り返ってみますと、コロナ禍におけるスポ少活動のあり方、夏季の熱中症対策など、これまでにない環境下での活動基準や判断が求められ、その都度協議を重ねながら対応してまいりました。今後も新たな課題や検討事項が出てくるものと思いますが、まずは団員が安全に楽しく活動できることを念頭に置き、より良い指針を導き出せるよう努めてまいります。

スポーツが大好きな子どもたちを沢山つくること、スポーツを通して大勢の仲間をつくれる子どもたちを増やすこと、そして地域の活性化を視野に、これからにかほ市スポーツ少年団が益々発展することを願い、また、引き続き皆さまからの絶大なご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



設立20周年を祝して

にかほ市長 市川 雄 次

にかほ市スポーツ少年団が設立20周年という記念すべき節目を迎え、ここに記念誌が発刊されますことに、心からお祝い申し上げます。また、長年にわたり、スポーツ少年団本部をはじめ、各団の運営にご尽力されました皆様の御努力と御労苦に対しまして深く敬意を表します。

さて、この20年を振り返りますと、旧3町のスポーツ少年団が合併してから、にかほ市スポーツ少年団では各団が互いに協力し合いながら、全団交流会など競技の枠を越えた交流の機会を創出し、そうした活動を通して市スポーツ少年団としての一体感が醸成されてきたものと感じております。そこで出会った仲間とともに切磋琢磨しながら、子どもたちは心身ともに大きく成長し、卒団したOB・OGの中には、トップアスリートとして活躍している方もいれば、大人となった現在では指導者として次の世代の指導にあたっている方もいらっしゃいます。このように地域の人材育成やスポーツ振興に繋がっておりますことも、貴スポーツ少年団の皆様方の情熱とご尽力の賜物であり、あらためて感謝を申し上げます。

また、近年では、新型コロナウイルス感染症の影響により、思うように活動できない時期が続きました。そうした中においても、各団が知恵を絞り、工夫を凝らしながら活動を続け、子どもたちが活躍してきましたことは、市民にとって大きな希望や勇気となり、貴スポーツ少年団の力強さを実感するものとなりました。

本市におきましては、令和7年10月13日のスポーツの日に「エスパーク★にかほ」では開館から4年4か月で来館者数20万人を達成し、市内におけるスポーツの機運の高まりを感じているところであります。また、令和8年3月末には竹嶋瀉カヌーパークがオープンし、この竹嶋瀉周辺エリアで多くの方々に様々なスポーツに親しんでいただける環境を整えることができました。市では、こうした施設整備を契機として、スポーツによる地域活性化が図られるよう、今後も積極的にスポーツ施策に取り組んでまいります。

スポーツは、明るく、豊かで、活力ある社会の形成に大きな役割を果たしております。スポーツ少年団の指導者や保護者の皆様には、子どもたちの「好き」や「やりたい」という気持ちを尊重しながら、勇気づけ、自信を持たせ、様々なスポーツに挑戦させていただければ幸いです。今後も子どもたちが健やかで逞しい心身を育むことができるよう、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴スポーツ少年団の益々のご発展と関係者の皆様のご健勝をお祈り申し上げ、お祝いの言葉といたします。



お祝いのことば

秋田県スポーツ少年団
本部長 田 口 将

この度の結成 20 周年、誠におめでとうございます。市政発足以前からも含めて、長い間団活動を支えご尽力いただきました関係者の皆様に改めて敬意を表するとともに、心より感謝とお祝いを申し上げます。

貴団は日頃から地域に根差した団活動はもちろんのこと、秋田県スポーツ少年団の事業推進におきましても日独交流への派遣、受け入れ、リーダー会への積極的な参加など本県を牽引する存在として活躍してこられました。

時代は今、少子化をはじめ駆け足で大きなうねりを上げて流れ始め、子供を取り巻くスポーツ環境が急激に変化していくなか、日本スポーツ少年団でも対応するべく第 1 次育成 5 年計画（アクションプラン 2023-2027）を作成して様々な改革に乗り出しております。全国スポーツ少年大会は、昨年度の田沢湖大会を最後に「JAPAN GAMES JUNIOR & YOUTH」に名称を変更したほか、競技別大会は「エンジョイ！スポーツフェスティバル」となり、そのレギュレーションも策定しました。又間もなく登録システムが大きく変わる予定にもなっております。更には中学校部活動の地域展開が推進され、スポーツ少年団の存在意義と立ち位置が問われることとなりました。

日本スポーツ少年団には世界に誇れる理念があります。これらを基にユース世代まで包括して進化させ「ジュニア・ユーススポーツ憲章（仮称）」として現在策定中です。勝利至上主義や指導者の不適切な指導が散見される中、今こそスポーツ少年団の理念に基づいた活動に立ち戻ることが求められている時だと感じております。

貴団におかれましては、これまで積み上げてきたものの上に迎えた節目の 20 周年を機に、今後ともにかほ地域の状況に応じながら抱える様々な課題の解消に向け、そして何よりも子供を中心にした自発的活動が継続されることを期待します。スポーツとは楽しむことです。

にかほ市スポーツ少年団が地域とともに今後益々活躍されることを祈念し、お祝いの言葉とさせていただきます。



お祝いのことば

にかほ市スポーツ協会

会長 齋藤 隆

にかほ市スポーツ少年団が設立 20 周年という大きな節目を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。長年にわたり、地域の子どもたちの健全育成とスポーツ振興にご尽力いただいた指導者の皆様、保護者の皆様、そして地域の関係団体の皆様に、深く敬意と感謝を申し上げます。

本市のスポーツ少年団は、平成 17 年の市町村合併を契機に新たな組織として歩みを始め、「一人でも多くの青少年にスポーツの喜びを提供する」という理念のもと、20 年にわたり活動を続けてまいりました。この間、少子化の進行や社会環境の変化、さらには新型コロナウイルス感染症による活動制限など、決して容易ではない時期もありました。しかし、そのような状況にあっても、指導者の皆様の熱意と創意工夫、保護者の皆様の温かい支え、そして何より子どもたちのまっすぐな努力が、活動を力強く支えてくださいました。

スポーツ少年団の活動は、技術の向上にとどまらず、「スポーツを通して青少年のこころとからだを育てる」という理念を体現しながら、子どもたちに礼節や思いやり、挑戦する心を育んできました。仲間とともに汗を流し、励まし合い、時には悔しさを分かち合う経験は、子どもたちの成長にとってかけがえのない財産となっています。

また、スポーツは世代や立場を超えて人々を結びつける力を持っています。「スポーツで人々をつなぎ、地域づくりに貢献する」という理念のもと、スポーツ少年団の活動は、地域の絆を深め、にかほ市の活力を支える大きな役割を果たしてきました。地域の皆様が大会や行事を温かく見守り、支えてくださる姿は、まさに本市の誇るべき文化であります。

今後も、にかほ市スポーツ協会は、スポーツ少年団の活動がより充実し、子どもたちが安心してスポーツに親しめる環境づくりに努めてまいります。地域全体で子どもたちを育てるという理念を大切にしながら、次の 10 年、20 年へと、さらなる発展をともに築いていければ幸いです。

結びに、本記念誌の発刊にあたり、多大なるご尽力をいただきました関係各位に深く感謝申し上げますとともに、スポーツ少年団のますますのご発展と、団員の皆さん一人ひとりの輝かしい成長を心より祈念いたします。

にかほ市スポーツ少年団10年のあゆみ

歴代本部長	
年度	氏名
28	中津 博行
29	中津 博行
30	中津 博行
1	中津 博行
2	中津 博行
3	佐々木 秀明
4	佐々木 秀明
5	佐々木 秀明
6	佐々木 秀明
7	佐々木 俊哉

登録状況		
年度	団員数(人)	指導者数(人)
28	490	241
29	472	228
30	432	212
1	389	201
2	389	205
3	372	193
4	319	194
5	297	171
6	289	148
7	263	139

おもなできごと	
年度	内容
28	設立10周年
	日独同時交流派遣 指導者 武藤 一男 団員 石船 青空
30	日独同時交流派遣 団員 矢部 太陽
1	日独同時交流派遣 指導者 佐藤 紀子 全国スポーツ少年大会参加 指導者 三澤 渉 団員6名
4	日独同時交流派遣（リモート） 団員 飯尾 月葉 須田 雄太 木谷 日菜柊
5	日独同時交流派遣 団員 佐々木 胡桃 日独同時交流受入 6名
6	日独同時交流派遣 団員 佐々木 風音 齋藤 和奏 石塚 花咲 飯尾 月葉 全国スポーツ少年大会参加 団員7名
7	設立20周年

日本・秋田県スポーツ少年団表彰		
年度	氏名	
28	佐藤 清克（日本退任指導者） 佐々木 貞雄（県功労者） 伊藤 鉄郎（県功労者）	
	29	齊藤 真由美（日本退任指導者） 齊藤 暢悦（県功労者）
	30	畑山 千代己（県功労者）
1	國松 正明（日本退任指導者） 佐々木 康（県功労者）	
2	青木 崇洋（県功労者）	
3	松永 姫子（県功労者）	
5	にかほ市スポーツ少年団（日本スポーツ少年団市町村） 須藤 金悦（日本退任指導者） 斎藤 徹（県功労者） にかほ市リーダー会（県優秀単位団）	
6	石井 実（県功労者） 伊藤 誠（県功労者）	
7		

にかほ市スポーツ少年団本部事業

入 団 式

全団交流会

修 了 式



4月第3土曜日
エスパーク★にかほ



12月第1土曜日
象潟体育館



3月第1土曜日
仁賀保勤労青少年ホーム

指導者・母集団研修会

年度	実施日 会場	主 題	講 師	参 加	開 催
28	11/19(土) 金公	・うっかりドーピングに気を付けよう ・アクティブ・チャイルド・プログラム ・ケガ予防のストレッチ	【講義】スポーツファーマシスト鳥海良寛氏 【講義・実技】東京学芸大学教育学部 佐藤善人氏 【実技】日体協スポーツリーダー、ストレッチセラピスト 齋藤真弓氏	79	2市
29	1/14(日) 金公	ボールであそぼう！指導者講習会	【講義・実技】 日本トップリーグ連携機構 田口禎則氏 ボールであそぼうトップマスター 岩屋睦子氏	39	単独
30	11/25(日) スマイル	子育てのコーチング～子どもにやる気を起こさせる“わざ”～	【講義】アイプラス株式会社 心理カウンセラー 吉田繁敬氏	78	2市
1	11/30(土) 金公	スポーツをする子ども達の食トレセミナー	【講義】日本体育協会公認 馬淵恵氏	59	単独
2	11/29(日)	令和2年度改定運動適正テストⅡ概要と評価（オンライン研修会）	【講義・実技】順天堂大学 保健看護学部 辻川比呂斗氏	53	2市
3		中止			
4	1/22(日) セミナーハウス	・「それって本当に成長痛？」 -障害予防のポイントは〇年齢- ・「小・中学生に筋トレは必要？」	【講義・実技】秋田大学医学系研究科保健学専攻理学療法学講座 齊藤明氏	41	2市
5	1/27(土) 金公	成長期の障害を予防するために何ができますか？～実技を通してまずは大人から知ろう～	【講義・実技】秋田大学医学系研究科保健学専攻理学療法学講座 齊藤明氏	39	2市
6	2/22(土) アキアパル	・成長期のスポーツ障害を正しく理解して適切に予防する ・子どもの「睡眠・栄養」はどこまで意識・実践できていますか？	【講義・実技】秋田大学医学系研究科保健学専攻理学療法学講座 齊藤明氏	29	2市
7	11/22(土) エスパーク	お米で支える！子どもの健康とスポーツ力～指導者にできる“食トレ”サポート～	【講義】一般社団法人食アスリート協会 理事・主任講師 馬淵恵氏	31	2市

にかほ市スポーツ少年団単位団のあゆみ

No.	団名	設立年月日
1	平沢野球	1970年 昭和45年4月 1日
		～2023年 令和 5年3月31日
2	仁賀保野球	1970年 昭和45年4月 1日
		～2020年 令和 2年3月31日
3	平沢バレーボール	1973年 昭和48年4月 1日
4	小出院内バレーボール	1973年 昭和48年4月 1日
		～2024年 令和 6年3月31日
5	平沢バスケットボール	1979年 昭和54年4月 1日
6	にかほ女子ミニバスケットボール (～R4 院内ミニバスケットボール)	1989年 平成 元年4月 1日
7	仁賀保剣道	1986年 昭和61年4月 1日
8	釜ヶ台卓球	1992年 平成 4年4月 1日
		～2010年 平成22年3月31日
9	ニカホWin-s FC	1970年 昭和45年4月 1日
10	金浦剣道	1977年 昭和52年6月25日
		～2019年 令和 元年3月31日
11	金浦Splash jr.野球 (～H28 金浦野球)	1977年 昭和52年6月25日
		～2019年 令和 元年3月31日
12	金浦柔道	1977年 昭和52年6月25日
13	にかほ卓球 (～H27 金浦卓球)	1979年 昭和54年4月 2日
14	金浦サッカー	1980年 昭和55年4月18日
		～2023年 令和 5年3月31日

No.	団名	設立年月日
15	金浦バレーボール	1983年 昭和58年4月 2日
16	象潟剣道	1976年 昭和51年5月 1日
17	象潟野球	1976年 昭和51年5月 1日
		～2025年 令和7年3月 31日
18	象潟サッカー	1975年 昭和50年5月 1日
		～2023年 令和 5年3月31日
19	象潟バスケットボール	1993年 平成 5年5月 1日
20	上浜野球	1976年 昭和51年5月 1日
		～2017年 平成29年3月31日
21	上浜バレーボール	1979年 昭和54年5月 1日
		～2018年 平成30年3月31日
22	上郷野球	1979年 昭和54年5月 1日
		～2016年 平成28年3月31日
23	象潟バレーボール	1978年 昭和53年5月 1日
24	上郷バレーボール	1983年 昭和58年4月 1日
		～2017年 平成29年3月31日
25	ジャングルKid's	2010年 平成22年4月 1日
26	にかほ市リーダー会	1995年 平成 7年4月 1日
27	Nikaho Spirits 野球 (～R6 NK Spirits jr.野球)	2020年 令和 2年4月 1日
28	KK.Legame	2023年 令和 5年4月 1日

平沢バレーボールスポーツ少年団

20年の歩み 代表指導者 齋藤 智樹

私が平沢バレーボールスポーツ少年団と関わるようになったのは、自分の子が入団することになったからでした。自分の子が卒団してからは指導者として団に残していただきました。平沢バレーは、『子どもたちが中学校になっても高校、社会人になってもバレーを好きでいてくれるように』ということを伝統としてきました。以前はバレーといえば勝利至上主義で、体罰は当たり前のようなスポーツでした。私も平沢バレーに子どもが入団したころはそれが当たり前とと思っていましたが、その考えが180°変わる出来事がありました。おそらく発足以来初めて試合ができない人数まで団員が減少してしまったのです。試合や練習するという当たり前のことができなくなり、バレーボールができることのありがたさを身に染みて感じることができました。その後は入団してくれる子も増え、今では体育館がにぎやかになるくらい人数も増えました。あの時があったからこそ、子どもたちにはバレーボールを楽しむことを大切にしたいと思います。卒団した子が学校の先生になりバレーを教えることになるかも、高校でバレー部のキャプテンになった、という話を耳にすると、バレーボールを好きでいてくれることが何より大切だと思いました。これからも『バレーボール楽しい!』の輪が広がっていくことを心から願っています。



メッセージ 前代表指導者 須藤 誠

13年前当時の親会からの誘いで指導を始めました。5年前には団員が4名となり活動もままならない状況でしたが、次年度からは子供達どうしの誘いにより徐々に団員が増え現在では1年生からの団員構成になっております。ここ数年の環境変化によりいっそう各自の個性を伸ばせる様に指導して行きたいと思っております。

メッセージ 元親の会会長 三浦 康晴

私は長女と次女が平沢バレーでお世話になりました。長女は社会人となった今でもバレーを続け、次女は中学校、高校ではバレーから離れてはいますが、社会人と一緒にバレーを続けています。バレーを今でも続けてくれているのは、平沢で学んだバレーボールの楽しさがすべての礎になっていると感じます。これからもそういう子が増えていって

メッセージ 本荘高校1年 三浦 綸暖

私が5年生の時、団員が4人になり試合も練習も満足にできず、気持ち落ち込むこともありました。でも団員が少しずつ増えて最後の大会では準優勝することができました。バレーボールの楽しさ、仲間の大切さ、色々なことを学ぶことができました。これからも平沢バレーを応援しています。



平沢バスケットボールスポーツ少年団

20年の歩み 指導者 阿部良

にかほ市スポーツ少年団は、地域の皆様に支えられながら二十年の歴史を刻んでまいりました。バスケットボールの指導を通じて、技術の向上のみならず、礼節や感謝の心、仲間を思いやる姿勢、最後まで挑戦し続ける力を育んできました。数多くの出会いと経験の積み重ねが、子どもたちの未来を照らし、地域の誇りとしてこれからも歩み続けます。ご支援くださった全ての方々に深く感謝申し上げます。今後ともよろしく願いいたします。

メッセージ 指導者 菊地彰

小さな一歩から始まったこのチームが、今日まで歩んでこられたのは、歴代の指導者の皆様、支えてくださった保護者の皆様、そして何よりコートを全力で駆け抜けてきた子どもたちの情熱があったからこそです。コートの上で流した悔し涙も、勝利の瞬間の最高の笑顔も、すべてがこのチームの宝物です。バスケットボールを通じて学んだ「最後まで諦めない心」と「仲間を信じる大切さ」を胸に、これからも子どもたちの成長に寄り添い続けてまいります。

団員の声

6年 工藤慶介

厳しい練習の中で去年田沢湖カップに行けて嬉しかったです。大きい大会で勝てなかった時は悔しかったが経験になりました。

5年 齋藤陸斗

先輩が田沢湖大会に連れて行ってってくれて嬉しかったです。副キャプテンとして後輩を引っ張って優勝を目指したいです。



5年 齋藤旭

チームの仲間たちと一緒にバスケットをやれてすごく楽しいです。残り2年間もこの仲間たちと一緒にバスケットをやりたいです。

4年 阿部善成

みんなと楽しくバスケットができて嬉しいです。目標は全国大会出場です。

4年 遠藤千晴

ぼくは、バスケットを通してチームワークの大切さを学びました。

4年 安倍瑛翔

仲間と協力する事や、勝つという目標に向かって日々学んでいます。これからも頑張りたいです。

4年 森井海成

バスケット部に入ってよかった事は、友だちとバスケットができる事です。練習して上手になって、みんなと楽しくバスケットがしたいです。

4年 土井颯太

僕はケガをして練習に参加できなかった時があったけどケガに気を付け頑張りたいです。プレーでは思いやりを大切にプレーします。

4年 加賀海風

僕は部活で頑張りたいことがあります。それは3分走る事です。練習の時3分走るのでそこを頑張りたいです。

4年 斉藤冬璃

僕はうまくなって県大会に出たいです。



にかほ女子ミニバスケットボール スポーツ少年団

20年の歩み 代表指導者 大友 健太郎

にかほ市スポーツ少年団設立 20 周年誠に
おめでとうございます。にかほ女子ミニバスは
平沢女子、院内女子が合同となり誕生しまし
た。発足から 4 年目を迎え、これまで歩みつ
ないで来られた卒団生、歴代指導者、保護者
の皆様にご心より感謝申し上げます。2 年目の
新人戦では優勝を逃し悔しい思いをしまし
たが、努力を重ねた結果夏季大会地区予選で
は初優勝を果たしました。その先輩達の姿や、
経験を受け継ぎ、子ども達は仲間と支えあ
いながら日々成長を続けています。私たち指導
者は目標に向かって挑戦し続ける力と思いや
りの心を育めるように努めて参ります。これ
からも地域に愛されるチームとして笑顔と感
謝を大切に未来へ歩んで参ります。

メッセージ 親の会 会長 安倍 恭平

子ども達はスポ少の活動で日々練習する
ことで継続することの大切さ、仲間と協力
することの大切さを学んでいます。これか
らのこの経験を糧に成長して欲しいです。



団員の声

院内小 6 年 齋藤 茉唯

他校の仲間が集まり、その中で協力し合
い楽しく活動できました。中学校でもこの経験
を活かしていきたいです。

院内小 5 年 佐藤 ひかり

仲間と協力することや目標に向かって努
力することの大切さを学んでいます。これか
らチームワークを大切に頑張ります！

金浦小 5 年 村上 日茉莉

コミュニケーションが苦手な運動も苦手
だったけど、たくさんの仲間がいて協力し合
い出来なかったことが出来るようになって
嬉しいです。これからも仲間みんなと頑
張りたいです。

平沢小 5 年 阿部 桜来

1 年生からバスケットを始め、最高の仲間と共
に楽しくバスケットをすることがとても嬉し
いです。今年は副キャプテンとしての役目を果
たして県大会ベストを目指して小学校最後
のバスケットを頑張りたいです。

平沢小 5 年 松野 朋華

仲間との協調性や団結力が高まり、仲良
く、楽しく部活動が出来ました。みんな
で味わう勝つ喜びは最高です。そんなバス
ケット部が大好きです。

平沢小 4 年 佐々木 愛李

バスケット部のみんなと目標に向かって、一
生懸命頑張ることがとても楽しいです。

仁賀保剣道スポーツ少年団

20年の歩み 代表指導者 阿部貞次

始めに、にかほ市スポーツ少年団が20周年を迎えられましたことを衷心よりお慶び申し上げます。これまで尽力されてきた関係者へ深く敬意を申し上げます。

さて、当団は秋田県の近代農業に尽力された齋藤宇一郎先生とTDK株式会社の創業者である齋藤憲三先生の出身地である旧仁賀保町の先人たちの功績を称え、「仁賀保・齋藤両神社奉納剣道大会」を開催し剣道を通じて子供たちのチャレンジ精神醸成と郷土教育を基軸として活動しております。この20年を振り返ると当団にとって大きな転換期を迎えた時期でありました。当時団員だった卒団生が就職を契機にかほ市内へ戻り、若手たちが多忙な仕事の合間を縫って指導に当たっており、当団としても一気に若返りが図られました。

また、団員の募集範囲が平沢小学校だけではなく院内小学校まで広げたことで剣道を学ぶ子どもたちが増えたことを大変喜ばしく感じております。

今後も指導者・親の会・団員が三位一体となって団活動を通じて地域貢献ができるよう微力ながら尽力してまいります。

団員の声 院内小学校6年 榮喜一士

僕は剣道を始めた頃からなかなか勝てないライバルがいました。それでも諦めず「絶対に勝とう！」という気持ちで日々の練習に励みました。その結果、最後の大会ではいつも勝てなかった相手に勝利し優勝することができました。優勝の瞬間、今まで「終わったことはしょうがない！次だ！次！」とずっと励まし続けてくれた両親が泣いて喜んでくれたことが印象に残っています。

中学校でも仲間との絆を大切にし、支えてくれる周りの人に感謝しつつ、更なる上位大会に向けてお互いに切磋琢磨したいと思います。

団員の声 院内小学校5年 六平雅奏

私は兄と一緒に剣道を始めました。剣道では三人の審判のうち二人以上が旗を上げなければ一本とはなりません。大会での技が決まった時の「やった！」という達成感は厳しい練習を乗り越え成果が現れた瞬間で、剣道の楽しさを実感できる瞬間でもあります。これからは主将となるので、新チームを引っ張っていきたいと思います。



ニカホ Win-s FC スポーツ少年団

20年の歩み 代表 佐藤 聖志

これまでの20年を振り返ってみますと、2度の全国大会出場を決めたときのことが思い出されます。2010年6月には雨の仁賀保グリーンフィールドで、外旭川を3対1で下し初優勝。今年度は秋田市の雄和運動公園広場で、八橋を2対0で下し2度目の優勝。全国大会の切符を手に入れました。両大会では団員の家族はもとより、OBのサポーター（親の会）や地元の方々が数多く駆け付けてくれて、まさにホームゲームと化し、チームと地域の一体感を感じた素晴らしい光景でした。

2002年に誕生したニカホ Win-s FC は、将来の少子化を見据えて平沢・院内・小出のサッカースポーツ少年団を統合しました。これからも地域に無くてはならないチームであり続けたいと思います。

団員の声 平沢小6年 佐藤 煌晟

恵まれた環境で最高の仲間と過ごした時間は一生の宝物です。周りへの感謝を忘れず、この経験を活かしていきたいです。

団員の声 平沢小6年 阿部 琉空

最高の仲間と協力して一緒に全国大会に行けた事が最高の思い出です。たくさんの経験と思い出をくれたスポ少に感謝しています。

団員の声 院内小学校 6年 石垣 誠史郎

6年間ニカホWin-sで活動をして、サッカーの楽しさや仲間の大切さを学びました。このことをこれからの生活に生かしていきたいです。

メッセージ 京都サンガF.C. U-18 阿部 亮馬
20周年にあたり、にかほ市のサッカー関係者、スポ少関係者の皆様に改めて感謝申し上げます。自分のスポ少時代を振り返ると、とにかく楽しかったことが思い出されます。それはニカホ Win-s のチーム基盤がしっかりしていることや、グリーンフィールドやASCグラウンドをはじめ練習や試合をする環境がほかの地域より優れていることが、そう思わせてくれていたのだと今つくづく感じています。末永くこの環境のもとで後輩たちが伸び伸びとプレーでき、そして活躍してくれることを願っています。自分もいつかそんな地元に恩返しができるよう日々精進していきたいと心を新たにしているところです。

メッセージ サポーター会長 渋谷 謙佑

20周年、誠におめでとうございます。チームとしては、15年振りに夢の舞台である鹿児島県での全国大会へ出場する事が出来ました。全国大会の結果は惨敗でしたが、スポ少活動を通して最高の仲間ができ、その仲間と喜びや悔しさを分かち合う素晴らしい経験が出来たと思っております。一生の宝物となる思い出と絆を築いてくださった指導者はもちろん、常日頃から応援してくださっている地域住民の方々に心から感謝しております。これからもニカホ Win-s FC は、仲間とともに成長し挑戦を続け、さらに輝かしい未来へ羽ばたいていくことを願っております。

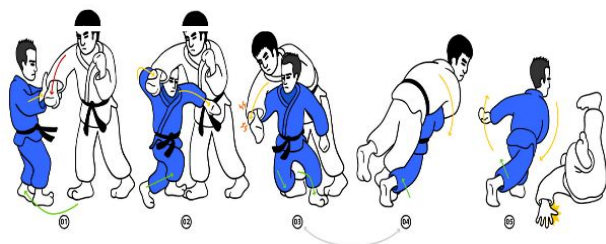
さぁ行こう！
仲間と最高の景色へ！
ニカホ Win-s FC



金浦柔道スポーツ少年団

20年の歩み 代表指導者 石川忠美

これまでの20年間を振り返りますとさまざまな事柄を思い出しますが、まずは団員たちが柔道を通して礼儀や礼節を重んじ仲間を敬う事や思いやる事ができるようになっているのが指導者として一番うれしいです。毎年の悩みごとは団員の人数が少ない事で、1番少ない時は5名で団体戦のチーム作りに苦労しました。現在は11名在籍しており、そういった苦労はありませんがもう少し柔道をやってみたいと思う人が増えれば良いと考えています。今は低学年・高学年に分かれてチームを組めるようになりました。昨年の北部杯全県少年柔道大会において低学年の部で準優勝という活躍をしてくださいました。ひとえに日頃から稽古をつけてくれる諸先輩方やOBの方々そして送迎して頂いている親の会の皆様のおかげです誠にありがとうございます。今後におきましては、団員の結束をさらに強固にし礼儀・礼節を大切にしていきたいです。



メッセージ 指導者 矢部太陽

私は、小4の時に柔道を始めました。当時は華奢で女の子にも勝てなかった私が、柔道を通して心身共に成長し、現在は小・中生を指導するまでになりました。今の私があるのは、恩師の先生から教えられた柔道への情熱を胸に、これからも指導に励みます。

団員の声①

金浦小5年 池田樹

僕が柔道を始めたきっかけは、従妹やお父さんがやっていたので、やってみたくて始めて始めました。2年生から初めて最初はなかなか勝てずに悔しくて、それでも練習頑張りやっとな試合で勝った時はとてもうれしかったのを覚えています。スポ少を通して技術や礼儀そして仲間の大切さを学びました。

団員の声②

金浦小4年 齋藤陽馬

ぼくが、柔道を始めたのは、兄が柔道をやっていたからです。試合を見た時に、格好良くて、僕も強くなりたいと思ったのがきっかけです。負けて悔しい時もあるけど、勝った時は自分もすごくうれしいし、仲間や先生方、家族も喜んでくれるので、これからも練習して、もっと強くなりたいです。

にかほ卓球スポーツ少年団

20年の歩み 代表指導者 谷野 雅之

金浦卓球スポ少は、金浦地域を主体として10年活動していました。その後私がスポ少を引き継いでから10年、名称もにかほ卓球スポ少に変更し、にかほ市全域から団員を募って活動してきました。そしていま、この先10年を見据え、中学部活動の地域移行の流れから、小中一体での活動を模索しながら新たに動き出そうとしています。少子化や働き方改革などの時代の流れが否応なく押し寄せ、我々もその変化に戸惑うばかりです。

でも、そんな中でも変わらないのが、卓球を通じて集い、仲間と共に笑い、泣き、喜び悔しがり、彼らなりに様々な感情を抱きながら成長する子どもたちの姿です。スポ少の中で小さな社会を学び、仲間と協力し、逞しくなっていく子どもたちには我々大人たちの方が元気をもらいます。スポーツ少年団は、これからも未来ある子どもたちの居場所であって欲しいと願っています。

メッセージ 親の会会長 三浦 浩治

監督による指導は卓球の上達、挨拶を元気に出来る事、話をきちんと聞く事ができる事を指導して頂きました。スポ少で得た貴重な経験は今後の人生に必ず生きるはずです。

スポーツ少年団の益々の発展と活躍を心より強く願っております。

団員の声

金浦小6年 三浦 優樹

とても充実したスポ少活動でした。卓球スポ少は本気(マジ)で、超一(メッチャ)楽しかったです!!「神(ゴッド)」

金浦小5年 齊藤 千紗

卓球スポ少で仲間にかこまれて練習できてよかったです。

金浦小1年 齊藤 光栄

サーブミス無くしたいです。新しい回転のかけ方を学びたいです。次の大会が楽しみです。

平沢小1年 齋藤 心

あたらしいサーブをおぼえました。団体戦でチームのためにがんばりたいです。

院内小1年 佐藤 凧

なかまといっしょに、たくさん練習して、もっともっとなつよくなっていきたいです。

院内小1年 佐々木 和臣

卓球の練習はいつも楽しいです。試合でもっと勝てるように、これからも練習がんばりたいです。



金浦バレーボールスポーツ少年団

20年の歩み 代表指導者 齋藤 裕貴子

20周年という節目を迎えられたことを心よりお祝い申し上げます。これまで関わってこられたすべての皆さまが想いをつなげてくださったからこそ、今ここでバレーボールに携わることができています。深く感謝申し上げます。

バレーボールは、ボールをつなぐだけではなく、気持ちと気持ち、人と人をつなぐスポーツです。そのつながりの中で生まれる信頼や思いやり、そして挑戦する勇氣は、バレーボールの大きな魅力であり、私自身が長年夢中になっている理由でもあります。

その魅力を、子どもたちにもたくさん感じてもらえたら嬉しいです。

そして、そのつながりをこれからも大切にしていきたいと思っています。

OBメッセージ 金浦中 今野 愛理

私は、4年間スポ少で活動して、仲間の温かさや礼儀の大切さ、仲間と協力して試合に勝つ嬉しさを学ぶことができました。後輩のみなさんには、困難なことにも、みんなで励まし合いながら挑戦して色々なことを学び、大きく成長して行ってほしいです。

団員メッセージ 院内小 齋藤 夢詩

私は、4年生からバレーボールを始めました。仲間と協力する大切さを学び、励まし合い楽しくバレーをすることを目標にこれからも頑張っていきたいと思います。



象潟剣道スポーツ少年団

20年の歩み 代表指導者 小田原 一樹

自分が象潟剣道スポーツ少年団の指導者になったのは約10年前でした。初めはまだ若かった事もありただただ厳しくがむしゃらにやっていた気がします。この10年を親の会初め子供達と一緒に成長させられました。特に令和4年に開催された第60回記念 鳥海弘毅剣道大会での団体優勝はチーム一丸となり勝ち取った優勝は指導者をしていて良かったと思えた大会でした。これからも剣道を通じて礼儀作法だけではなく仲間大切さや思いやりそして何よりも剣道は楽しいぞと言うことを伝えていきたいと思えます。

メッセージ 指導者 青木 崇洋

これまで指導した団員は百色の個性で彩られていました。努力、困惑、ひたむきさ、葛藤、喜び団員にとって全てが良き思い出ではなかったかもしれませんが、その全てが自身の成長へと繋がっていました。そして私も同じく成長させてもらいました。これからも一生懸命を楽しみながら共に成長していきましょう。

メッセージ 指導者 高橋 潤平

指導者として関わるようになって15年。低学年から高学年になるにつれて心身共に成長していく団員達の姿に感心するばかりです。剣道を通じて学んだ事がこれからの人生で自信や誇りになることを願っています。

団員の声

象潟小6年 青木 柊真

僕は、小学校2年生から剣道を始めました。練習が辛い事もあったけど、仲間がいたから乗り越えられました。試合では、なかなか勝てなかったけど、もっと練習して中学校の総体では優勝を目指したいです。

象潟小6年 佐藤 佑

ぼくがスポ少で学んだ事は「感謝」です。一緒に練習した仲間、剣道を一から教えてくれた先生方、練習に送り迎えしてくれたお父さん、お母さんありがとう。



象潟ミニバスケットボールスポーツ少年団

20年の歩み 代表指導者 兵藤 陽介

私は、長男が1年生で入団してから6年間、保護者から始まり、チームスタッフ、指導者として、この団にかかわってきました。

団の活動においては、子どもたちが主役であることは間違いありません。その中で、保護者の皆様、競技経験のあるチームスタッフの方々、そして試合をしてくれる他校の子どもたちがいてこそ、活動ができていけるものだと、日々感謝しています。ありがたいことに、新年度も、新しく入団してくれる子どもたちの話が聞こえてきています。

近年は少子化が進み、全員が桃太郎、全員が白雪姫というように、教職員でさえ主役を1人に決めることがむずかしい時代になっています。そのような中で、当団員の保護者でもある私は、指導のしかたや試合の進め方に悩むこともあります。

ときには学校の先生のように、またときには昭和の時代の近所の頑固親父のような気持ちになることもあります。バスケットボールだけでなく、日々の生活の中でも、自分で考え、自分で行動できる子どもたちになれるように育てたいと考えています。

これからも、子どもたちが中心となる団活動を行えるよう、指導していきたいと思います。

メッセージ 親の会会長 須藤 和信

子ども達はスポーツを通じて、心身の健全な育成や仲間を思いやる心、感謝の気持ちを育むことができていると感じております。

また、日々の練習で子ども達が明るく元気に励む姿を見られることは我々大人の喜びでもあります。

このスポーツ少年団で一生の仲間を見つけ、何事にも全力で挑戦してもらいたいと思います。

団員の声 象潟小6年 横山 心之助

いつでも支えあい励ましあった仲間たち。ケガをして大会に出られなかった時も責めることなく、「大丈夫、絶対に勝つから」と言ってくれました。一緒にいてくれた仲間たち、送迎してくれた保護者の皆様、そして指導してくれたコーチたちに感謝しています。



象潟バレーボールスポーツ少年団

20周年の歩み 土屋 貢

スポーツや武道に関わる中で「心・技・体」という言葉を耳にするとと思いますが、スポーツ少年団というカテゴリーの中では「心」の部分大きく育てようと私は思います。

20年前の指導は、気合と根性！が先立っていたと感じますが、現在の指導では様々な観点から通用しなくなっています。もちろん気持ち強く持たなきゃ「ここぞ!!」っていう局面で力を発揮することができないと思いますが…

私が一番に思う「心」とは、子供らしくスポーツマンらしく大きな声で挨拶や返事ができること、また使った道具や空間を綺麗に片付けることができること、そして自分がバレーをできる環境が当たり前のことではなく周りの人たち、例えば 朝早くから弁当を作ってくれたり送り迎えなどを無償で応援してくれる親や家族、バレーができる場所を提供してくださる方々、大会等を運営してくださる方々、自分たちと対戦してくれるライバル、そして共に汗と涙を流し同じ道標を進む仲間!などに感謝の気持ちを持ってもらいたいと思い指導しています。

そういう「心」の部分小学生らしく素直に受け入れて行動できる子供たちは必ずプレーに頭れると思います。勝った!負けた!ではなく、自分たちが掲げた目標に向き合い、自分の役割(やるべきこと)を知り、仲間を思いやるようになり、諦めず頑張ってやり切る・やり抜くプレーとなり、勝敗よりも大きなものを得ると信じています。そして何度も何度もトライ&エラーを繰り返し、少しずつ心と体を強くし技術を磨き、自ら掲げた目標達成をすることに繋げてもらいたいです。

スポーツ少年団は、子供たちだけが学び成長に繋げるものではなく、我々指導者や親会の皆様も共に成長できる場と感じております。私の信念 「情熱に勝る指導は無い」 を心

に抱き子供たち、親会と接し、一緒に成長していきたいと思います。

メッセージ 親の会会長 齋藤 一大

スポーツ少年団 20 周年、誠におめでとうございます。

子供たちは仲間とともに練習や試合を重ねる中で、技術だけでなく思いやりや努力することの大切さ、礼儀や感謝の気持ちなど、多くのことを学ばせていただいております。この経験は、これからの成長の大きな力になることと思います。

団員の声 象潟小5年 齋藤 悠花

私は、2年生の時にバレーを始めました。4年生の新人戦から、キャプテンとしてコートに立っています。あいさつや礼儀などバレー以外の事も学んでいます。これからも仲間と力を合わせバレーボールに取り組んでいきたいです。

団員の声 象潟小5年 須藤 愛

小学校4年生から妹と一緒にバレーボールを始めました。大きな声でチームを引っ張ることを心がけています。新人戦では、みんなと力を合わせて準優勝する事ができてとても嬉しかったです。大好きなバレーをこれからも続けて頑張りたいです。



ジャングル Kid's スポーツ少年団

20年の歩み 代表指導者 須田 桂

このたびは、にかほ市スポーツ少年団創立 20 周年、誠にありがとうございます。

私は、一人の父兄としてスポーツ少年団に関わり始めました。練習に励む子どもたちの姿、仲間と声を掛け合いながら挑戦を続ける姿に、胸を熱くしたことを今でも鮮明に覚えています。あの頃、わが子の成長を願いながら見守っていた私が、今は代表としてこの場所に立っていることに、不思議なご縁と大きな責任を感じています。創立 20 年という歩みは、多くの指導者の皆様、団員保護者の皆様、そして何よりも懸命に努力を重ねてきた団員一人ひとりの存在が、この歴史を築いてきました。勝敗だけではない、礼儀や思いやり、仲間を信じる心といった大切な学びが、スポーツ少年団としての真の財産であると感じています。これからも子どもたちの笑顔と挑戦があふれる場所であり続けてほしいと願っています。時代が変わっても、ここで育まれる絆と情熱は変わりません。地域に愛され、未来へと受け継がれる少年団として、さらに大きく羽ばたいていくことを心より祈念し、20 周年のお祝いの言葉といたします。

メッセージ 指導者 齋藤 真弓

にかほ市スポーツ少年団設立 20 周年という輝かしい節目を迎えられましたことを、心よりお祝い申し上げます。

私達ジャングルキッズスポーツ少年団はにかほ市スポーツ少年団の一員とさせていただき 19 年目となります。本団はこれまで一貫して「ダンスを通して人間力を磨こう」というスローガンのもと、子どもたちの成長と真摯に向き合ってまいりました。技術の向上だけでなく、礼儀や思いやり、最後までやり抜く力を育てることこそが、私たちの目指す姿です。そして、

私が何より嬉しく感じるのは、結果以上に、その過程で見せる子どもたちの姿です。悔しさを乗り越えて再び立ち上がる強さ、仲間を信じ支え合う心、本番に向けて自分を高めようとする真剣なまなざし。その一つひとつが、人としての成長につながっていると実感しております。これからも「ダンスを通して人間力を磨こう」という理念を胸に、挑戦を続けながら、子どもたちが自らの可能性を信じて羽ばたいていける場であり続けられるよう、指導者として精進してまいります。

メッセージ 元団員・指導者 佐々木 胡桃

私はかつて、この団の一員としてダンスに打ち込み、今でも鮮明に心に残っています。そんな一つひとつの経験が、私を大きく成長させてくれました。「ダンスを通して人間力を磨こう」というスローガンの意味を、当時の私は理解していなかったかもしれません。しかし今、指導者として子どもたちと向き合う立場となり、その言葉の重みを痛感しています。仲間と支え合い、努力を積み重ね、舞台上自分を表現する喜びと緊張。そのすべてが、人としての強さと優しさを育むのだと、身をもって知りました。私は、これからも団員として育てていただいたこの場所で、今度は指導者として次の世代を導ける幸せに、心から感謝し、子どもたちにとって夢に向かって挑戦できる温かく力強い場所であり続けられるよう、全力を尽くしてまいります。



Nikaho Spirits 野球スポーツ少年団

20年の歩み 代表指導者 齊藤 哲太

2020年。金浦と院内の子供達が集まり、Nikaho Spiritsはスタートしました。「野球を続けられる環境を作ってあげたい」その想いから始まった小さな一歩でした。

子供達のひたむきな努力と保護者、地域の皆様の支えにより活動を続け、現在は平沢、象潟の仲間も加わり、にかほ市で唯一の野球スポーツ少年団として歩んでいます。

地区を越えて集まった子供達は、勝つ喜びや負ける悔しさを分かち合いながら本当のチームへと成長しました。泥だらけのユニフォームは努力の証、大きな声は仲間へのエール、試合後の一礼は感謝の気持ち。

野球を通じて仲間の大切さと野球の楽しさを伝え続け、これからも感謝の心を胸に走り続けます。

メッセージ 平沢野球 卒団生 佐々木 健吾

スポーツ少年団創立二十周年、誠におめでとうございます。私にとってスポ少は、野球の技術だけでなく、身体を動かす楽しさ、仲間と励まし合うこと、時にはライバルと競い合う中で生まれる絆を教えてくれた大切な場所です。努力を重ね、試合で成果が出た時の達成感は、今でも忘れることができません。ここで得た経験は、今も私の支えとなっています。これからも多くの子どもたちに、スポーツの素晴らしさと挑戦する喜びを伝え続けていくことを心より願っております。

メッセージ NK Spirits jr. 卒団生 櫻山 怜汰

僕は小学生2年生のとき、NKに入団して今も野球を続けています。野球を続けられたのは、コーチが野球の楽しさを教えてくれたからです。これからも養った基礎を生かして頑張っていきます。みなさんも何事にも諦めずに頑張ってください。



メッセージ 仁賀保野球 卒団生 高橋 洗陽

20周年おめでとうございます。私はスポ少をすることには大きな意義があると感じています。他者へのリスペクトや礼儀、目標を立てて研鑽を積む力、継続する力を養っていくこと。そして私が重要に感じているのは、一つ一つの物事の意味を自分で考えて見つけること。私は、スポーツは意味を追求していくものでもと考えています。スポーツではプレーの中の出来事は必ず何かしらの結果として現れます。だから、上手くいくために、もしくは勝つために意味あるプレーを考えて行う必要があります。これからスポーツを続ける人、別の道に進む人も沢山いると思いますが、どちらにしても「なぜ？」と問い、自分の中で答えを出していくことは何かを成すうえで重要な要素の一つになると考えます。今後益々のご活躍を祈ります。

団員の声

金浦小学校6年 佐藤 立騎

スポ少活動を通じて、新しい仲間と出会い、練習や試合を経験できた事が何よりの思い出になりました。ありがとうございました。

院内小学校6年 相庭 楓

チームのみんなと一緒に、たくさんヒットを打ってアウトを積み重ねて勝てた試合が、とても楽しかったです。

平沢小学校6年 佐藤 成真

4年間、野球スポ少で礼儀や感謝など様々な事を学びました。心も体も成長できて最高の4年間でした。たくさんの思い出も作れました。

象潟小学校6年 佐藤 玲心

6年生からにかほスピリッツのみんなと一緒に野球をしました。卒団まで一緒に野球が出来て良かったです。

KK.Legame スポーツ少年団

20年の歩み 総監督 小野 利広

これまでの20年間を振り返ってみて、子供達とサッカーを通して、勝利への喜びや悔しさを経験し、人間としても成長していく姿がとても嬉しく思います。

KK.Legameは、2023年に象潟SSSと金浦SSSが合併し、Legameの由来である「絆」を大切にチームとして成長する事を目的としています。

少子化が進み団員が少ない中での活動ですが、日々の練習や遠征、色々な大会を経験して地区大会を勝ち抜き、県大会でも戦えるチームに成長してきております。

これも、大会関係者、指導者、そして何より親のご協力がなければ出来ません。

これからも、感謝の気持ちを忘れず、大好きなサッカーを精一杯楽しめるよう、今後も活動していきたいと思っております。

メッセージ 親の会会長 佐藤 宏樹

20周年おめでとうございます。また、指導者の皆様お忙しい中、熱い指導ありがとうございます。

親の会として、5年間サッカーを見てきました。練習、大会、遠征等で勝つ楽しさや負ける悔しさ色々な経験をしてきたと思います。そして、サッカーという団体競技でみんなで協力して、勝利を掴み取るという経験がこれからの人生の役に立つと思います。サッカー出来る事を当たり前と思わず、指導者、親に感謝をして少しでも良い成績を残し、KK.Legameの歴史を刻んで行ってください。

団員の声 象潟小 6年 土井 柚希奈

6年間、楽しくサッカーする事が出来ました。色々な大会や遠征に参加し、楽しい思い出や悔しい思い出もしました。スポ少で学んだこと、経験してきた事を活かし頑張っていきたいです。



リーダー会スポーツ少年団

20年の歩み

10周年の時からさらに10年を経て、元来の目的である「リーダーから指導者へのステップアップ」が果たせるようになりました。次世代の指導者としてスポーツ少年団を支えてくれる人財を大切に、これからもリーダーたちを育てていきたいと思えます。

リーダー会はスポーツ少年団において重要な役割を担い、今では必要不可欠な存在だと感じます。リーダー会とスポーツ少年団の存続とますますの発展を願っています。

代表指導者 佐々木もと子

世界へ広がった交流の輪

スポーツ少年団20周年、誠にありがとうございます。小学校を卒業してからもリーダー会という形でスポーツ少年団に関わり続けることができたこと、心から感謝しています。

リーダー会での活動を通して、様々なことに挑戦する機会をいただき、多くの学びを得ることができました。特に、日独同時交流での受け入れと派遣は、貴重な経験であり、かけがえのない思い出です。県を越え、国を越え、スポーツを通じてたくさんの仲間と交流できたこと、年代や立場を越えてたくさんの方々に出会えたことは、私たちにとって大きな財産となりました。ここで築いたつながりや経験は、これからの人生においても大切な支えになると感じています。

これまでの20年の歩みに敬意を表するとともに、これからもスポーツ少年団が多くの方に愛され、地域の方々から応援され、さらに発展し続けていくことを、リーダー会団員一同心より願っております。

団員一同

日独同時交流
(受け入れ)

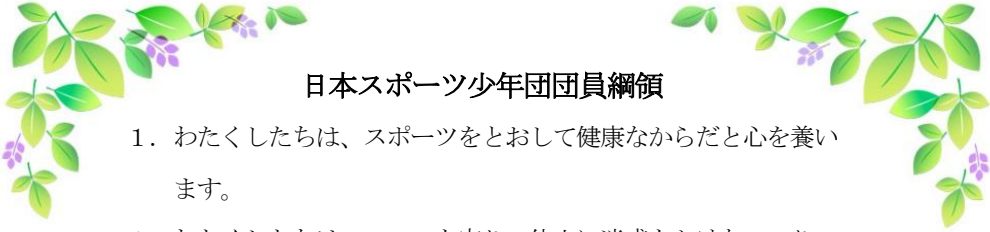


日独同時交流(派遣)



リーダー会紹介(式典の司会・進行サポート等)





日本スポーツ少年団団員綱領

1. わたくしたちは、スポーツをとおして健康なからだと心を養います。
1. わたくしたちは、ルールを守り、他人に迷惑をかけない、りっぱな人間になります。
1. わたくしたちは、スポーツによって、自分の力を伸ばす努力をします。
1. わたくしたちは、スポーツのよろこびを学び、友情と協力を大切にします。
1. わたくしたちは、スポーツをとおして世界中の友だちと力をあわせ、平和な世界をつくります。



日本スポーツ少年団指導者綱領

1. わたくしたちは、次の時代を担う子どもたちの健全育成のために努力します。
1. わたくしたちは、スポーツのもつ教育的役割を果たすために努力します。
1. わたくしたちは、子どもたちのもつ無限の可能性を開発するために努力します。
1. わたくしたちは、つねに愛情と英知をもって子どもたちと行動するよう努力します。
1. わたくしたちは、スポーツを愛する仲間とともに世界の平和を築くために努力します。

みどりの朝風

一、みどりみどりの朝風に

希望の団旗はたがなっている

われらはスポーツ少年団
におう健康けんこうあこがれ高く

若い力をさあたたえよう

若い心をさあたたえよう

二、さやかさやかな青空に

平和の鳩はとが舞まっている

われらはスポーツ少年団

水に大地いきに意気はつらつと

若い力をさあそだてよう

若い心をさあそだてよう

三、元氣元氣な歌声で

世界の友が呼んでいる

われらはスポーツ少年団

燃えるファイトに花咲く技わざに

若い力をさあきたえよう

にかほ市スポーツ少年団登録規程

第1条 この規程は、にかほ市スポーツ少年団設置規程第4章第6条に基づき、スポーツ少年団・団員・指導者・役員・スタッフの登録に関することについて定める。

第2条 登録は、にかほ市スポーツ少年団設置規程第2章の目的にのっとり、にかほ市スポーツ少年団に加入することを目的として行うものとする。

2 新規登録を希望する団体は、にかほ市スポーツ少年団登録申請書を提出し認定を受けなければならない。当該団体は、にかほ市スポーツ少年団活動基準に基づいて活動することを前提とする。

第3条 登録は、にかほ市スポーツ少年団が別に定める要件を具備したものをもって、にかほ市スポーツ少年団から秋田県スポーツ少年団を通じ、日本スポーツ少年団へ、各スポーツ少年団単位で申請する。

2 前項の登録にあたっては、にかほ市スポーツ少年団、秋田県スポーツ少年団および日本スポーツ少年団がそれぞれ別に定める登録料を納めるものとする。

第4条 登録の有効期間は、登録の認定を受けた日から、その年度末日までとし、年度ごとにこれを更新する。更新の方法は前条に定めるところによる。

第5条 にかほ市スポーツ少年団は、第3条の定めにより登録を行ったスポーツ少年団・団員・指導者・役員およびスタッフに対し、日本スポーツ少年団の認定を受け、所定の認定を行う。

第6条 登録の認定を受けた団員・指導者・役員およびスタッフ（以下「少年団登録者」という。）が、公益財団法人日本スポーツ協会及び秋田県スポーツ少年団倫理規程に違反する行為を行った疑いがあるとき、別に定める基準に基づき対応を行うものとする。

2 前項の対応を行った結果、当該少年団の違反行為が明らかとなり、処分を行う必要があると判断された場合、当該少年団登録者を処分するものとする。

第7条 この規程を定めるほか、登録に関して必要な事項は、にかほ市スポーツ少年団本部委員会の承認を得て別に定めることができる。

第8条 本規程の改定は、にかほ市スポーツ少年団本部委員会の承認を得て、変更することができる。

附 則 この規程は、平成28年5月11日から施行する。

平成29年4月18日一部改正

令和2年6月23日改定

にかほ市スポーツ少年団登録規程内規

第1条 この内規は、にかほ市スポーツ少年団登録規程第3条および第5条に関する事項について定める。

第2条 にかほ市スポーツ少年団登録規程第3条に関しては、次の通りとする。

- 1 登録区分は、単位団においてスポーツをすることが主な活動である場合は「団員」、スポーツを指導することが主な活動で公認スポーツ指導者資格を保有する場合は「指導者」、単位団の取りまとめ等が主な活動の場合は「役員」、単位団活動の運営やサポートが主な活動の場合は「スタッフ」とする。
- 2 団員は、小学生以上とする。
- 3 指導者は、登録する年の4月1日現在満18歳以上で、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格保有者とする。
- 4 単位スポーツ少年団は原則として団員10名以上と指導者2名以上で構成されるものとする。なお、団員数がやむを得ない理由により人数に満たない場合は、にかほ市スポーツ少年団の判断により、団の登録を認める。
- 5 前項における指導者は少なくとも2名以上をスポーツ少年団の理念を学んだ者（次のいずれかにあてはまる者）とする。
 - (1) 令和元（2019）年度にスポーツ少年団認定育成員・認定員の資格を保有していた者
 - (2) スタートコーチ（スポーツ少年団）資格保有者
 - (3) 令和元（2019）年度以前にシニア・リーダーとして資格認定され令和5（2023）年度まで引き続き登録を行っていた者
 - (4) 令和2（2020）年度以降にシニア・リーダーとして資格認定され引き続き登録を行っている者
- 6 前項にかかわらず、新規登録単位スポーツ少年団については、初年度に限りスポーツ少年団の理念を学んだ者を必置とせず、次の（1）または（2）を満たせばよいものとする。
 - (1) スポーツ少年団の理念を学んだ登録指導者が1名の場合
この1名を除いた指導者、役員及びスタッフのうち少なくとも1名が、当該年度中にスタートコーチ（ジュニア・ユース）養成講習会の受講を修了すること。
 - (2) スポーツ少年団の理念を学んだ登録者がいない（0名）の場合
指導者、役員及びスタッフのうち少なくとも計2名が、当該年度中にスタートコーチ（ジュニア・ユース）養成講習会の受講を修了すること。
- 7 指導者または登録する年の4月1日現在満18歳以上役員及びスタッフのうち1名を代表者とする。
- 8 登録に関する手続きは、スポーツ少年団登録システムを用いて行うこととする。
- 9 単位スポーツ少年団の登録にあたっては、毎年4月1日から7月31日までの期間中に、にかほ市スポーツ少年団に申請するものとする。
- 10 にかほ市スポーツ少年団は、上記手続きを経た単位スポーツ少年団をとりまとめ、8月31日までの期間中に秋田県スポーツ少年団に登録申請の届出を行う。また、にかほ市スポーツ少年団所属の役員およびスタッフの登録も同時に行うものとする。
- 11 にかほ市スポーツ少年団への登録料は、次の通りとする。
 - ・ 団員1名900円（日本スポーツ少年団へ300円、秋田県スポーツ少年団へ300円、にかほ市スポーツ少年団へ300円）
 - ・ 役員1名1,300円（日本スポーツ少年団へ700円、秋田県スポーツ少年団へ600円）
 - ・ 指導者・スタッフ1名の登録料1,300円（日本スポーツ少年団へ700円、秋田県スポーツ少年団へ600円）はにかほ市スポーツ少年団の負担とする。

第3条 前条による認定を受けた単位スポーツ少年団、団員、指導者、役員およびスタッフは、にかほ市スポーツ少年団、秋田県スポーツ少年団、日本スポーツ少年団が実施する諸活動に参加する権利を有すると共に、日本スポーツ少年団の制定する標章等の使用（営利目的での使用を除く）を認められる。

第4条 登録者の個人情報、公益財団法人日本スポーツ協会個人情報保護方針に基づき、日本スポーツ少年団、秋田県スポーツ少年団、にかほ市スポーツ少年団にて共同利用する。その他、個人情報の詳細については、別途定める。

第5条 この内規は、本部委員総会の議決によって変更することができる。

附則1 この内規は平成28年5月11日から施行する。

附則2 第2条～第5条 令和2年6月23日改定

附則3 第2条 令和5年4月19日改定

附則4 第2条 令和6年5月8日改定

にかほ市スポーツ少年団設置規程

第1章 総 則

第1条 この規程は、にかほ市スポーツ少年団（以下「本団」という。NIKAHO JUNIOR SPORTS CLUBS ASSOCIATION、略称N・J・S・A）に関することを定める。

第2条 本団は、市内のスポーツ少年団をもって構成する。

2 本団の事務局は、にかほ市商工観光部内におく。

第2章 目 的

第3条 本団は、スポーツ少年団の普及と育成及び活動の活性化を図り、もって青少年の心身の健全な育成に資することを目的とする。

第3章 事 業

第4条 本団は前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) スポーツ少年団の育成と援助
- (2) 指導者の育成及びリーダーの養成
- (3) 交流事業の実施
- (4) 登録に関する事務補助
- (5) 関係団体との連絡調整
- (6) その他前条の目的達成に必要な事業

第5条 本団は、前条の事業に関しては、決定および実施の権限を有する。

第4章 登 録

第6条 本団への加入は、登録をもって行う。

第5章 役 員

第7条 本団に次の役員をおく。

- (1) 本部長 1名
- (2) 副本部長 若干名
- (3) 委員 50名以内
- (4) 監事 若干名
- (5) 幹事 若干名

第8条 本部長及び副本部長は、本部委員総会で選出する。

2 本部長は、本団を代表し、団務を統轄する。

3 副本部長は、本部長を補佐し、本部長が事故あるときはその職務を代行する。

第9条 監事は、本部委員総会で選出し、本部長が委嘱する。

2 監事は、本団の会計を監査する。

第10条 幹事は、本部長が委嘱する。

2 幹事は、本団の事務を処理する。

第11条 委員は、次の者の中から内規として別に定める人数により選出する。

- (1) にかほ市スポーツ協会
 - (2) 学校長
 - (3) 学識経験者
 - (4) 各スポーツ少年団代表指導者
 - (5) 認定育成員
 - (6) 関係官庁・機関
- 2 前項のほか、本部委員総会の承認を得て、委員を委嘱することができる。

- 第12条 役員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。
- 2 役員に欠員が生じた場合は、それぞれの選出方法に準じて補充する。ただし、その任期は前任者の残務期間とする。
 - 3 役員は任期が終了しても、後任者が就任するまでその職務を行う。

第6章 会 議

- 第13条 本部委員総会は、本部長、副本部長、及び委員をもって構成し、本団の事業計画、予算、事業報告、決算その他の業務に関する重要事項を議決する。
- 2 本部委員総会は毎年1回開催し、本部長がこれを召集し、その議長となる。
 - 3 本部長が必要と認めたときは、臨時に本部委員総会を召集することができる。
- 第14条 本部委員総会の議事は、出席した構成員の過半数をもって決め、可否同数のときは議長がこれを決める。

第7章 専門部会

- 第15条 本団に、第4条に掲げる事業に関する専門事項を処理するために専門部会をおくことができる。

第8章 指導者協議会

- 第16条 本団に、指導者の協調及び指導力の向上をはかるため指導者協議会をおくことができる。

第9章 会 計

- 第17条 本団の会計は補助金、負担金、寄付及びその他の収入をもってあてる。
- 2 本団の会計は毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

第10章 本規程の変更

- 第18条 この規程は、本部委員総会の同意を得て変更することができる。

附 則 この規程は 平成18年4月1日から施行する。

令和2年6月23日一部改定

令和5年4月19日一部改定

にかほ市スポーツ少年団役員選出母体内規

第1条 設置規程第11条により別表を内規として定める。

第2条 この内規は、本部委員総会の同意によって改廃することができる。

名称	経験・資格等	人数
本部長	学識経験者	1名
副本部長	にかほ市スポーツ協会	1名
	学校長	1名
	スポーツ少年団指導者協議会長	1名
	学識経験者	1名以内
委員	認定育成員	若干名
	学校長	8名以内
	各スポーツ少年団代表指導者	26名以内
	学識経験者	若干名
	関係官庁・機関	若干名
監事	学識経験者	2名

附 則 この内規は 平成18年4月1日から施行する。

附 則 この内規は 平成31年4月17日に改定・施行する。

令和5年4月19日一部改定

にかほ市スポーツ少年団の活動基準

にかほ市スポーツ少年団の活動について、団員、指導者、母集団が健全でゆとりある活動を促進するため、次の基準を設定する。この基準は本部委員総会によって設定されたものであり、変更する場合は十分な協議の上で慎重に進めるべき内容である。

募集 ・小学生以上の募集とする。ただし、低学年の活動については専属の指導者・練習メニュー（注1）のもと週1～2回程度の活動が望ましい。加入するときは本人・指導者・保護者が十分に話し合うこと。

- 注1：① 中・高学年とは放課時刻が大きく異なるので、練習開始までの間、大人がいること。
② ①の対応ができない場合は、一旦帰宅させること。
③ 発達段階を考慮して低学年専属の指導者をつけること。3～6年生の練習メニューとは別のものを準備し、一緒に練習を行わないものとする。

・各団の募集できる範囲は現行を維持する。これを変更する場合は、本部委員総会に諮り承認を得るものとする。

応募 ・応募できる範囲に入団を希望する種目がなく、募集範囲を超えて入団を希望する場合は、希望する種目団体の指導者と入団希望者保護者との協議により決定する。
※原則として、応募できる範囲内に希望する種目がある場合は、募集範囲外の希望する種目団体には入れません。

活動日数・休止日

- (1) 団員の健康保持や障害防止の観点から、1週間の活動日は、大会や招待試合、練習試合への参加を含め4日以内とし、週3日の休止日を確保する。
- (2) 第3日曜日は、原則として全県一斉の活動休止日とする。
ただし、大会等が第3日曜日開催される場合、参加・不参加は、団員の体調や健康面を考慮した上で、各団において慎重に判断して決定する。やむを得ず大会等に参加した場合には、第4日曜日を活動休止日として確保する。
- (3) 大会や招待試合、練習試合への参加で土曜日、日曜日に活動した場合には、月曜日を休止日として団員の体力回復に努める。

活動時間

- (1) 団員の体力や運動能力、発達段階に応じて活動時間を設定し、1日の活動時間を2時間以内とする。 *準備・片付けは含まない。
- (2) 活動終了時刻は、翌日の学校生活に支障をきたさないよう、原則午後7時までとする。

配慮事項

- (1) 団活動は、20歳以上の登録指導者のもとで行う。(ただし、特別な事情がある場合には、役員またはスタッフが管理することも可とする。)
- (2) 活動は、単一種目に偏ることなく、他の種目や奉仕活動等も取り入れ、多様な体験をさせるようにする。
- (3) 勝利至上主義に陥って、一部団員の活動に終始することなく、全団員が喜んで活動できるような活動内容を工夫する。
- (4) 団員に過度な負担がかからないよう、大会や招待試合、練習試合の参加回数を精選するように努める。
- (5) 殴る、蹴る、道具でたたく、物を投げつけるなどの身体的暴力、威圧する、無視する、脅すなどの言葉や態度による精神的暴力、セクシャルハラスメント等の反社会的行為を根絶する。
- (6) 施設設備・用具等の安全点検を定期的実施し、事故の未然防止に万全を期する。
- (7) 定期的に指導者と育成母集団（保護者等）との話し合いの場を設け、活動方針を確認し、相互の共通理解のもとで団活動を進めるように努める。

《付帯事項》 ○「活動基準」に著しく反して活動した「団」「指導者・役員・スタッフ」には、その活動内容及び状況を精査し、「スポーツ少年団登録者処分基準」により、然るべき処分・罰則を適用するものとする。

附則 平成18年 4月 1日から実施
平成28年 5月11日一部改定
平成30年 4月16日改定
令和 2年 6月23日改定

R7年度 にかほ市スポーツ少年団本部委員名簿

No	役職名	氏 名	所 属	職 名	指導者協議会 役職
1	本部長	佐々木 俊哉	象潟剣道	スタートコーチ インストラクター	
2	副本部長	佐々木 勝理	にかほ市スポーツ協会	スポーツ協会副会長	
3	副本部長	畠山 ゆかり	院内小学校	学校長代表	
4	副本部長	谷野 雅之	にかほ卓球	代表指導者	会長
5	幹 事	大須賀 悦郎	平沢バスケットボール	代表指導者	副会長
6	幹 事	須田 桂	ジャングルkids	代表指導者	副会長
7	幹 事	石川 忠美	金浦柔道	代表指導者	幹事
8	幹 事	佐藤 聖志	ニカホWin-s FC	代表指導者	幹事
9	幹 事	土屋 貢	象潟バレーボール	代表指導者	幹事
10	監 事	武田 卓	仁賀保剣道	代表指導者	
11	監 事	齊藤 哲太	Nikaho Sprits 野球	代表指導者	
12	本部委員	安斎 知子	平沢小学校	校長	
13	本部委員	佐々木 史子	金浦小学校	校長	
14	本部委員	菱刈 宏記	象潟小学校	校長	
15	本部委員	齋藤 智樹	平沢バレーボール	代表指導者	
16	本部委員	大友 健太郎	にかほ女子ミニバスケットボール	代表指導者	
17	本部委員	齋藤 祐貴子	金浦バレーボール	代表指導者	
18	本部委員	土屋 貢	象潟バレーボール	代表指導者	
19	本部委員	小田原 一樹	象潟剣道	代表指導者	
20	本部委員	武田 努	象潟バスケットボール	代表指導者	
21	本部委員	伊藤 慎司	KK.Legame	代表指導者	
22	本部委員	佐々木 もと子	リーダー会 / スタートコーチインストラクター	代表指導者	

にかほ市スポーツ少年団設立20周年記念誌への御協力
ありがとうございました。

編集委員 佐々木俊哉 谷野 雅之
大須賀悦郎 須田 桂
石川 忠美 佐藤 聖志
土田 貢

事務局 にかほ市商工観光部スポーツ振興課
〒018-0302
にかほ市黒川字岩瀧 21
にかほ市多目的屋内運動場「エスパーク★にかほ」内
TEL 0184-33-8855 FAX 0184-74-6446
E-mail:supotusinko@city.nikaho.lg.jp